

常磐小学校の再編についての説明会 結果概要
(区民対象)

- 開催日：令和5年11月22日（水）午後7時2分～8時25分
- 場 所：常磐小学校 体育館
- 参加者：29名
- 内 容：常磐小学校の再編案について

主な意見と回答

(参加者) 再編は構わないがスクールバスの計画はあるのか。

⇒(教委) スクールバスの運行は考えている。準備委員会でも話し合っていく予定。

(参加者) この問題は2年前の新聞記事でいきなり出たが、地区の誰も知らない拙速な話であった。

地区の中ではあまりにも急な話であり、落としどころとしては糸生小との同時再編ならやむを得ない雰囲気であった。そのような中で昨年5月の説明会でも、大勢は糸生小との同時がよいとのことだったと思うが、その時どのように答えたか覚えているか。

⇒(教委) 説明会で意見を頂いてから、糸生小での説明会で意見をお聞きした。朝日小としても1回で済むなど同時再編に理解する意見もあったが、令和11年再編である糸生小の時期まで待ってもらうのは申し訳ないこと、前倒しは糸生地区の本意ではないということであった。令和7年や8年の前倒しは断念せざるを得なかったというのが事実である。

⇒(参加者) 確認したいのは、昨年の説明会で糸生小との同時再編について検討すると約束したことである。それが急に令和7年単独でという話が聞こえてきたが、行政とはそのような簡単なものではないのではないか。保護者に朝日小へ行けると誘いをかけてバタバタになったとも聞いている。保護者が朝日小へ気持ちがいってしまった以上無理かもしれないがどう考えているのか。

⇒(教委) 糸生地区とお話することは約束したが、地区の気持ちもありこちらの一存では決められないことである。常磐の保護者と幾度となく意見交換やアンケートを行い、二分するような意見にはなったが、令和7年やむなしとなったので今回地域の皆様にご了解を頂きたいと思い寄せてもらった。保護者の気持ちを考えたいという思いである。

⇒(参加者) 常磐の意見は聞かずに糸生の意見は聞くのか。

⇒(教委) 糸生地区との5年の開きを一緒にすることは難しいという意味であるのでご理解頂きたい。

⇒(参加者) なぜ昨年5月の説明会でわかったと言ったのか。

⇒(教委) 糸生地区へお話しはしますと言ったが、令和11年でやりますと言った覚えはない。

⇒(参加者) 子どもために再編が仕方ないのであれば反対するつもりはない。あまりにも内容が変わっていくので、不信感がありそれを聞きたかった。

⇒(教委) 進め方が悪いという意見もあるが、少しでも意見を聞きたいということでこのような結果となった。地域の皆様にもお詫びしたいと思う。

- (参加者) 糸生地区ときちんと話をしたうえで保護者と話をしてきたのか。いじめなどの問題もあるから糸生小と一緒にいいという話であったが、その点も保護者と話をしたのか。
- ⇒ (教委) 出来れば一緒に理想だと思い話をしてきた。しかしそれは出来ないということで保護者と話をしてきた。
- ⇒ (参加者) 出来ないと言ったのは誰なのか。
- ⇒ (教委) 常磐小の保護者は令和 11 年まで待てない、糸生小は令和 11 年より前は難しい、という話の中でどうしようということで話をした。
- ⇒ (参加者) 糸生小と一緒にどうかと話をした後に、出来ないから次どうするかという順番で話をしたのか。
- ⇒ (教委) 保護者とは何度も話をきて、令和 11 年まで待てないということで最終的に単独でという話をしてきた。
- ⇒ (参加者) 令和 6 年に新生が 0 人になるのなら、令和 6 年で再編出来ないのか。
- ⇒ (教委) 当初は学校にもよるが 2 年近く準備が必要だと考え最短の令和 6 年でお示した。
- ⇒ (参加者) 準備に 2 年かかるということか。
- ⇒ (教委) 2 年とは言わないが時間が必要だと考えている。

- (参加者) 糸生小との話について確認したい。約 2 年前 PTA で当時の保護者と児童にアンケートを行った。意見は 3 校同時ありがたいということで、今年の 4 月までは 3 校同時で話をしてきたかと思うが、教委と糸生地区の確認の場というのは誰を対象に何回行ったのか確認したい。
- ⇒ (教委) 参考までに糸生小の PTA 会長に話を伺った。その 1 回である。
- ⇒ (参加者) 先ほどの説明は PTA 会長に話を聞いたということか。
- ⇒ (教委) 先ほどは地元の区長や知人、保護者などの個人的な話しについてお話しした。
- ⇒ (参加者) 地区説明会などきちんとした場で意思確認したわけではないということか。きちんと意思確認したように聞こえたが、個人的な意見を総意のように話したということか。
- ⇒ (教委) 個人的な聞き取りである。申し訳ない。
- ⇒ (参加者) 最初からそのように説明いただかないと誤解が生じる。

- (参加者) これまでの話やアンケートを見聞きするとやむを得ないかと思っていたが、それは常磐小と糸生小との歩調が合わないということが前提にあったからである。それが個人的な意見で説明されると納得出来なくなってくる。これを荒立て白紙に戻そうとすることは、これからの保護者や子どもたちのことを考えると出来ないが、やり方はきちんとしないと納得できない。これから来年 1 年間で準備がきちんと出来て朝日小に移れるのか非常に心配。朝日小は普通の小学校だが、常磐小にない不登校の問題など保護者に説明しなければならない。
- ⇒ (教委) 現在、四ヶ浦小、城崎小が令和 7 年 4 月の再編に向けて準備委員会が発足したところである。常磐小も目標が決まれば心配されていることも含め全力で進めていきたいと考えている。アンケートなどでも保護者のご意見をお聞きしているので、遅れることなく進めていきたい。

(参加者) 再編問題は合意形成が難しくどうすればよかったのかと思っている。これから他の地区も再編が進んでいくと聞いているが、大丈夫なのか不安がある。ある町では町長が毎回出席して議論しているが、わが町の町長は一度も出席したことがないということである。ホームページで公開されている他の地区の結果を見ると、町長が出席しないのかと意見が多く出ている。その点はどうお考えか。

⇒(教委) 町長には全ての地区の全ての説明会等の内容を逐一報告している。他の地区で町長が出席しないのかという意見は一度もなかったと記憶しているが、まちづくりに関して町長部局の職員は出席しないのかという意見はあった。

⇒(参加者) まちづくりの議論をしようと思うと、町の担当がいなければなかなか話ができない。文部科学省が出している手引きに「まちづくりを含めた将来ビジョンを共有し十分な理解や協力を得ながら進めていくことが大切である」とあるように、これは教育委員会に求めるものでもなく、今の出席者では議論出来ないと思う。今まで一貫して説明会の枠組みが変わらなかったことについてどうお考えか。

⇒(教委) 建物をどうするかだけでなく、子どもが朝日小へ行くようになってどうするかとなると教育委員会だけでは当然対応出来ないので、町長部局や必要とあれば町長が来て皆さんのご意見を聞くことも考えられる。お願いになるが一緒になって考えて頂きたい。

⇒(参加者) 跡地利用以外にも一緒に進められるような形を模索していただけるとありがたい。

(参加者) 常磐小の教育環境に関して、他の地域の方から頂いたコメントがあるので皆さんにお伝えしたい。本も出版されている方で、つくば市の元教育長と個人的なお付き合いがありお手紙を頂いた。その中で、これからの日本の教育は二十四の瞳のような少人数教育を目指すべきであり、複式学級が羨ましい限りですと書かれていた。この教育環境を失くすことについて改めてご意見を伺いたい。

⇒(教委) 常磐小は地元で愛され支えられており、悪いということではない。ただ、同級生が一人もいない、同じ教科書を持つ友だちもなく先生と一人で学んでいる。体育でも手を抜いて全力プレーが出来ない環境はそれでいいのかと考える。教育に素人ではあるが、出来ればたくさんの友だちと勉強して遊んで欲しい思いであり、保育園での友だちも小学校から一緒に行けることも大事だと考える。

⇒(参加者) 私の職場の前に保育園があり、地元の保育所ではない所から地元の小学校へ行っている。常磐地区に特化することだけは避けていただきたい。

(参加者) 先日、私の子どもが県内の運動神経の良い子どもたちが集まるジュニアアスリートアカデミーに参加した。常磐小では上級生にも負けない状況で過ごしてきたが、アカデミーの帰りに子どもの顔を見たらすごく悔しそうに見たことのない表情をしていた。私は大勢の中でもっと秀でている人がいることを体験させ、負けて悔しいという気持ちがあったら人間は成長すると、その時に初めて実感した。

常磐小は家庭教師のような状態なので知能は良くなるのかもしれないが、大人になっていく上で、好きな人嫌いな人が出てくることは当然であり、どうしたらこの人と仲良くなれるか経験するためには、大人数の中でコミュニケーション能力を高めることも一つではないか。これは個人的な意見であり、子育ての考え方は違うので強要することではないが、このような考えを持つ親もいること

を理解して考えて欲しい。

先ほどから糸生小との同時再編の話が出ているが、これは未就学児が令和 11 年まで学校にいれないという状況になり再編の対象になる不安が出てくる。そこで未就学児の保護者は指定校変更を許してくださいという条件がだされたわけで、そうしないと未就学児の立場としても無理だということである。在校生がいる中、どこかで区切りをつけるしかないということで、令和 7 年が提案されたと認識している。事務局が言葉足らずだと思い発言させていただいた。

(参加者) 教育長は教育の素人だったのか。

⇒ (教委) 教員出身の教育長ではないという意味である。

⇒ (参加者) 教育長とはどういう人が任命されるのかご存知か。

⇒ (教委) 存じている。

⇒ (参加者) 町民として教育行政に識見があると期待しているので、よろしくお願ひしたい。

⇒ (教委) 任命を受けた以上、職務を全うするべく今後も一生懸命勉強したい。よろしくお願ひしたい。

(参加者) 保護者説明会では、最後まで常磐小で学びたいという思いはあるが、この状況では致し方ないということで最終的には教育委員会で決めてくださいとお願ひした。最初に令和 6 年と言われた常磐小と、令和 11 年と言われた糸生小では気持ちの切り替えが違う面があると思う。令和 11 年と言われれば今から入ってくる未就学児は糸生小のような同じ気持ちになり、令和 6 年と言われたので、それなら早くという気持ちになったのだと思う。常磐小で学べる環境があるということはありがたかったので、朝日小でも同じ環境で学べるようにして頂きたい。

⇒ (教委) 現在の常磐小の先生を配置するなど、ご意見のような配慮や気配りをしながら進めていきたいと思う。ご理解をお願ひしたい。

(教委) いろいろご意見を頂いたが、最終的に常磐小の再編の時期を、令和 7 年 4 月を目標に今後進めさせて頂いてよろしいか。

我々事務局も精一杯頑張っていきたいと思う。

これまで、令和 3 年 10 月から始まった数々の説明会や意見交換会を開催するにあたり、保護者の皆さまをはじめ地域の皆さまのご協力をいただいたこと改めてお礼申し上げます。今後は、学校再編に向かって皆さまのご協力頂きたいと思うので、これからもよろしくお願ひしたい。